



自然と人との絆のために



そらちみなみ

5
月号

2015 Vol. 76

第6回 JAそらち南通常総代会



主な内容

- 第6回通常総代会
- 栗山町青年農業賞
- コープやまぐち生協まつり
- ホクレン職員実習受入
- 水稻種子温湯消毒
- 栗山町青年農業賞
- 青空教室
- グリーンツーリズム
- 作業風景…etc

～第6回通常総代会開催～

4月2日、由仁町文化交流館「ふれーる」にて第6回通常総代会が開催されました。

平成26年度事業報告の他、平成27年度事業計画や中長期経営計画などが審議され、全議案可決承認されました。

全議案可決承認される

第6回通常総代会



北海道猟友会
栗山支部
元支部長 原 五一氏



由仁町種馬鈴薯採種
組合連絡協議会
会長 田中 勲氏

4月2日、由仁町文化交流館にて、第6回通常総代会が総代305名(定数308名 欠員3名)のうち257名(うち委任状7名、書面議決40名)の出席により開催されました。開催にあたって大友代表理事組合長より、本会出席と農協事業に対する謝辞と、昨年の国内外情勢並びに作況と主な農協事業実績報告を含めた挨拶があり、その後栗山町長をはじめご来賓の皆様よりご祝辞を頂戴致しました。

冒頭では、農協事業や農業に多大な貢献をされた方への表彰が行われ、由仁町種馬鈴薯採種組合連絡協議会会長 田中勲氏(伏見)、北海道猟友会栗山支部元支部長 原五一氏(松風)にJAから表彰状と記念品が贈られました。

議長には、山崎耕一総代(中里)と原田政信総代(本三川)が選出され、円滑な議事進行により議案第1号から議案第8号までがそれぞれ審議され、全議案承認されました。また、最後にはTPP等国際貿易交渉から北海道を守り抜く特別決議と農協改革に関する特別決議が満場一致で採択され、北専務の閉会宣言により総代会は終了致しました。

第6回 JAそらち南通常総代会



議長を務めた山崎総代(右) 原田総代(左)

- 第6回通常総代会議案
決算報告
- 議案第1号 平成26年度貸借対照表、損益計算書及び注記表並びに全国監査機構の監査及び監事の監査報告について
 - 議案第2号 平成26年度事業報告、剰余金処分案の承認について
 - 議案第3号 平成27年度事業計画の設定について
 - 議案第4号 中長期経営計画の設定について
 - 議案第5号 営農賦課金の賦課及び徴収方法について
 - 議案第6号 役員報酬の支給について
 - 議案第7号 経営基盤強化積立金(定款第67条に定める目的積立金)の設定について
 - 議案第8号 規約の一部変更について
 - 信用事業規程の一部変更について
 - 報告事項1 JAバンク基本方針の変更について
 - 報告事項2 労働保険事務組合の平成26年度徴収・納付状況の報告について
 - 報告事項3 株式会社メリーフークの平成26年度収支決算報告及び平成27年度事業計画について
 - 特別決議事項1 「TPP等国際貿易交渉から北海道を守り抜く」決議
 - 特別決議事項2 「農協改革に関する」決議



審議に臨む総代の皆さん



JA綱領を朗唱する役員と来賓の皆さん

地域農業の将来を担う

栗山町青年農業賞



鷺尾正臣さん・ひとみさん夫婦

3月27日、栗山町カルチャープラザEkiにて、栗山町青年農業賞及び勝部徳太郎夫婦賞の表彰式が開催され、桜山の鷺尾正臣さん・ひとみさん夫婦が受賞されました。

この賞は小麦の大規模経営に成功した故勝部徳太郎氏の浄財をもとに創設され、毎年優秀な農業後継者へ贈られております。

鷺尾さんは、平成11年に就農、平成19年に経営移譲を受け、現在は30haの面積で水稻や大豆などを栽培しており、一昨年には「米・ীগランプリ・inらんこし」で準グランプリを受賞するなど良質な農産物の生産に努めております。また、過去には旧JAくりやまの青年部長として活躍され、地域の仲間からの信頼も厚く、地域農業の将来を担う人材として期待されております。

J A そらち南産をPR

コープやまぐち生協まつり

3月28日・29日、そらち南減農薬米生産組合と由仁町まごころ玉葱部会が、山口県で開催された第40回コープやまぐち生協まつりに参加し、米・玉ねぎ・馬鈴しよのPR活動を行いました。

日頃、コープやまぐちには、当JAのななつぼしやたまねぎを取扱い頂いており、毎年この時期に行われる生協まつりに参加させて頂いております。

当JAのブースでは、米・玉ねぎ・馬鈴しよを販売しましたが、二日目の午前中には完売してしまう盛況ぶり、大いにPRを行う事ができました。



馬鈴しよ・玉ねぎの詰め放題



全国各地の生産者などが出店

J A 事業を学ぶ

ホクレン職員実習受入



二宮さん
(種子定植)



坂田さん
(営農部)



石原さん
(販売部)

今年度、ホクレン農業協同組合連合会に入会した新入職員の石原綾香さん、坂田浩幹さん、二宮啓さんが、4月16日から当JAに実習で訪れております。

ホクレンに入会した職員は、札幌にて新人研修を受けた後、道内のJAへ行き、約1か月半の農協実習を行います。

農協実習では、各部署をまわり実際の業務に携わりながら農協事業を学んでいく他、農家実習も組み込まれており、田植え作業や種馬鈴しよの定植作業を体験し、農業に直接触れる経験もしていく事になります。

配属先がまだ決まっていない3人ですが、少しでも農協業務や農業経営を理解しようと懸命に取り組んでおります。

「クリーン農業の実践」

水稻種子温湯消毒



由仁地区



栗山地区

4月6～8日の3日間にわたり、生産資材部機械センターと古山麦乾調製施設で水稻種子の温湯消毒が実施されました。

「温湯消毒」とは、農薬を使わずに60℃のお湯に浸して消毒する方法で、それをすすめる事により農薬の使用回数を減らすことが出来るだけでなく、通常であれば出てしまう消毒後の薬液も出ないことから、環境にも優しい農業の実践と言えます。

今年は栗山地区3,655kg、由仁地区6,850kgの種籾を消毒致しました。

「春作業を前に」

青空教室

4月7日栗山地区、8日由仁地区において今年度1回目となる青空教室がそれぞれ開催されました。

今回は、秋まき小麦の「ゆめちから」と春まき小麦の「はるきらり」について、空知農業改良普及センター空知南東部支所の国枝係長と玉井係長から栽培における注意点などの説明を頂きました。

寒空の下での研修となりましたが、大勢の組合員さんが参加され、より品質の高い小麦の生産に向けて質問が出るなど、有意義な研修会となりました。



由仁地区



栗山地区

「自然や文化などを楽しむ活動」

グリーン・ツーリズム



栗山町・由仁町では、自然や文化・人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動として「グリーン・ツーリズム」の活動を行っています。

主な活動内容としては、農業・農村体験事業として、道内外の修学旅行生の受入や町内商店街等でのイベント事業、また、地場産食材を使用した食育事業や町内外での物産展等直売支援事業を行っています。

協議会の目的としては、農業の発展に資する立場から、農業者自らの創意工夫による各種取り組みを積極的に行い、行政・JAがともに一体となり、両町の魅力発信や農業振興発展に努めております。

活動内容に関心のある方につきましては、両町のグリーン・ツーリズム推進協議会へお問い合わせください。

(窓口：栗山町・由仁町産業振興課内)

営農指導課のページ

病害虫発生予想

北海道病害虫防除所が、平成27年の「病害虫発生予察情報第一号（長期予報）」を発表しました。

それによると、札幌管区気象台が発表した暖候期予報が、「夏の平均気温はほぼ平年並で、降水量は平年並が多い見込み。天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ曇りや雨の日が多い見込み」となっているのを受け、いくつかの病害虫の多発を予想しています。

多発が予想されている病害虫で、当地域に関係するのは以下の通りです。

一、水稻の紋枯病

この病気は以前にも紹介していますが、近年の高温経過によって増加している病気で、道内各地で防除対象とすべき病気に加えられています。

当地域での発生は確認されていませんので、急に多発することはありませんが、注意してください。

二、小麦の赤かび病

麦類の出穂期から開花期が、曇りや雨の日が多い可能性が予報さ

れています。この時期の多湿経過は、病原菌の活性を高め、感染と病勢の進展を促進します。

秋まき小麦、春まき小麦ともに適期防除の情報を参考に、カビ毒対策に万全を期してください。

三、大豆のべと病

本病の初発後の蔓延は、曇りや雨の日が多いと加速します。種子伝染による部分的発生を見逃さず、適切な防除を心掛けましょう。

四、豆類の菌核病と灰色かび病

両病ともに、開花期以降が曇りや雨の日が多いと多発します。窒素肥料の多施用や天候不順経過による豆類の過繁茂が重なる、農薬散布の効果が不十分になります。

また、耐性菌が確認されている農薬もありますので、選択に注意が必要です。

五、大豆のマメシンクイガ

マメシンクイガは多発傾向が継続中で、越冬密度が高いことが想定されています。

そのため、天候経過に関係なく多発が予想されていますので、技術情報に注意して対応してください。

六、豆類の食葉性鱗翅目幼虫

豆類の葉を食害するキタバコ

ガ、ツメクサガ、ヨトウガを、食葉性鱗翅目幼虫と呼称しています。これらの害虫も多発傾向が継続しているため、越冬密度が高いと推測されています。

技術情報に注意して対応してください。

七、ばれいしよの疫病

曇りや雨の日が多い夏は、疫病の初発を早めるとともに急激な蔓延をもたらします。

これまで同様、技術情報を活用した適切な防除が必要です。

八、てんさいの褐斑病

本病は夏期の高温経過で多発する病気で、近年多発傾向が継続中です。特に、生育後期に急激に蔓延する事例が多いので、生育後期の計画的な防除が重要です。

九、てんさいの西部萎黄病

この地域では散発程度ですが、道央や道東方面での多発生が目立っています。

この病気はアブラムシが媒介するウイルス病で、保毒したアブラムシがハウス内で越冬する作物残渣や雑草で冬越しするのを防止することが重要です。

十、てんさいと

キャベツのヨトウガ

昨年、てんさい等で多発したことから、越冬密度が高いと推測さ

れています。そのため、幼虫の加害期にあたる6月下旬から7月上旬頃（第一回）と、8月下旬から9月上旬頃（第二回）の圃場観察に努め、早めの防除を心掛けましょう。

十一、たまねぎの

ネギハモグリバエ

平成25年に一部地域での多発により、りん茎への食害が問題になりました。昨年も発生地域とりん茎への被害の拡大が確認されています。

成虫が出現する5月下旬以降、葉に縦に並ぶとされる白い点状の食痕の出現に注意してください。

防除機の点検と農薬の適正使用のお願い

防除機の点検はお済みですか？防除機のノズルは摩耗します。磨り減ったノズルは、均一な噴霧状態を確保できなくなるため、防除効果が低下します。定期的に交換しましょう。

各種農薬の使用頻度が高くなる時期になります。農薬は、作物の安定生産に欠くことのないツールですが、使用に際してのルールをしっかりと守ることが、使用者のモラルであり責務です。正しく使って、豊かな秋を迎えましょう。

しましたのでお知らせいたします

第四選挙区				第五選挙区		第六選挙区				
山形	農事組合法人 ユニファーム	山楸	渡辺 好弘	古山	倉知 修	本三川	辻谷 尚希	東三川	吉本 聖二	
	阿部 勝美		西川 和幸				原田 政信		川端 敦	
	三木田 修		西潟 晴美				飯田 修久		吉本 好孝	
	堀 雅弘		村口 学				上野 祐司		雨野 俊正	
古川	山崎 臣剛	岩内	岡本 好弘	熊本	東 貴之	中三川	高橋 智	川端	赤木 浩道	
	上田 喜也		萩原 咲子				宮西 勉		境田 和美	杉本 淳久
	中道 雅彦		川合 和子				東 貴之		菅原 義勝	安川 里史
	樋山 則昭		(有)梅田農場				窪田 一郎		石黒 秀一	前田 直樹
	堀 泰夫		真保 敏昭				島 喜代志		岩崎 博之	山崎 好彦
	嘉屋 泰幸		藤田 佳丈				馬場 敏		亀田 洋	渡辺 修二
	中嶋 悟智		作田 茂与				木戸 博文		吉野 明美	村瀬 勝美
	中嶋 秀夫		早坂 忠師				三谷 孝裕		羽賀美智子	和泉 貢
	尾崎 和弘		柴田 隆				(株)ヨシダ		山内 勝人	辻本 哲雄
	伏見		宗像 政則				山楸		賀集 謙一	西三川
本川 秀雄		川合 昭文	小林 佑輔	上野 義信	岩崎 由香					
牧野 幸雄		藤井 裕志	東 澄	片桐 邦博	新谷ひとみ					
杉本 憲子		岡本 勝美	権平 敬保	田中 孝明	鎌野 令子					
下古山	松浦 和博	山楸	賀集 江美	西三川	森井 善和	東三川	浅川 景德	川端	長谷 清二	
	南 洋一		北野 康幸				北川 正則		林 新治	山根 博樹
	野島 征樹		(有)山内農産				坂東 正明		田中 昭一	川原 孝治
	村椿 健一		滝口 賢治				鷹 修		田中 光雄	鷺見 幸生
山楸	古井 静子	山楸	(有)長嶋農産	西三川	森井 善和	東三川	蓑島 仁美	川端	松島 政和	
	西沢 和宏		立原さをり				(有)ア-ム大塚		杉本喜志子	石川 義晃
	浅田 義明		吉田 忠正				喜井 信子		川辺 孝則	森本 樹範
	樋山 正博		岩崎 俊博				三谷 耕一		森田 斉	田中 浩
山楸	当麻 辰男	山楸	(有)井坂農産	西三川	森井 善和	東三川	杉本 勝吉	川端	中村 隆浩	
	徳橋 謙		西田 勝敏				西田 恵		辻本与志幸	庄司 真樹
	佐藤 和成		中村 圭徹				大塚 法子		山田 宏幸	菅野 知明
	本間 孝明		高橋 博貴				新屋 徹也		橋本 尚彦	片山日出造
小 計		58 名		小計 29 名		小 計		59 名		
						合 計 308 名				



J A そらち南全総代308名が決定

第一選挙区				第二選挙区				第三選挙区						
栗山二	旬久保農産		石井 裕治		藤田 明美		中島 信之		大川 一夫		岩崎 英伯			
桜丘	堂間 良一		松原 崇幸		清水 治広		雁田 康裕		高瀬 新一		寺島 晃一			
	新屋 祐子	雨煙別	藤森 洋貴		宮田 充		斉藤 茂雄		田村 毅		高橋 浩一			
	佐藤 芳宏		小泉 弘人	桜山	柴田 貴浩	共和	金山 友一		藤井 吉美		大谷 彰			
	高畑 哲男		正井 文雄		日置 正敏		西山 健治		高桑 政勝	御園	高橋 康子			
富士	久保 正則		背戸 厚志		鷲尾 正臣		(株)斉藤農場		横岡 貴之			山下 義憲		
	木戸 好		砂田 正春		安達 康幸		亀田 博	南学田	井澤 雅彦		大櫛 和矢			
	木下 等嗣		溝口 馨		井上 博幸		澤田 光夫			幅田 正志		國田 貴俊		
	長谷川 誠	緑丘	橋場 克史		八田真由美		山田 晃博		栗野 政博		小暮 滝弘			
	山崎 耕一			蛇谷 慎也		清水 栄一	三日月	西野 明美		芳賀 正己		笹谷 和広		
	塚本 昭三		中谷 光一		松本 明司		棚村 優		岩花 義勝		長澤 哲哉			
中里	蔵田 信幸		鳥村 正行		西村 隆浩		田中 正夫		中島 昭夫		(株)笹谷農産			
	林 公夫		亀森 辰雄	杵臼	青木 悟		西岡 賢一		岩崎 誠治	南角田	堀田 一仁			
	木本 富雄	吉田 真澄	伊東 春彦			澤田 稔		橋本 克己			松田 玉雄			
	今村 誘逸		坂本 隆紀		原田 優司		荒木 智		片山 肇		清水 一郎			
	仁木 裕		飛田 貴史		奥野 貴司	阿野呂	富澤 崇弘		清水 哲矢		沢田 雅文			
	菅野 基晴		坂口 卓也		篠田 勝			富澤 紀彦	継立	井沢美代子		斉藤 幸博		
湯地	中山 邦夫	北学田	水上 忠信		山崎 昌弘		富澤 榮			井沢 直衛		勝部 征矢		
	上田 崇彦		(株)栗山あったか77-4		北海道三富屋(株)		井澤 達夫		川崎 晴市		小丸 順一			
	田中 貴志		荻野 一彦		田村 利江		中野 良一		桜間 弘晃		石川 幸男			
	洲野 幸子		下向 義雄		清水 秀幸		久宝めぐみ		小野寺 均	円山	氏家 透			
森	山口 則子		中川 和政		(株)The北海道77-4		田村 賢治	日出	寺島 正晴			佐々木徳一		
	三好 博彰		水上 雄亮		斉藤 榮吉	大井分	大塚 史明			谷内 智隆		石川 巖		
	高橋 利雄		高木 和利	旭台	中嶋 常隆			沢田 典幸		谷口 美博		鈴木 正志		
鳩山	青木 剛克				藤島 浩吉		木内 浩一		前田 恭子	東山	土門喜一郎			
	堀田 幸蔵				名内 稔弘		高尾 孝幸	御園	河合 則久			日原 和夫		
	瀬尾 正樹				川畑 憲吾					寺西 哉	滝下	川浦 孝治		
	金森 正明				谷口 昇寛				齊藤 義崇			川浦 慶一		
小 計				52 名	小 計				54 名	小 計				56 名

任期は平成27年5月1日～30年4月30日となります。よろしくお願い申し上げます。

役員・担当職員・品目担当者にご案内申し上げます。

品 目	組 織 名	部 会 役 員 名					担当職員
		部 会 長	副部会長		会 計	監 事	
米 穀	ＪＡそらち南「ゆめびりか」生産組合	南坂明憲	浅川景德	—	中島昭夫	窪田新作 川畑憲吾	宮本佳明
	そらち南減農薬米生産組合	瀬尾正樹	野島征樹	石川義晃	—	川端 敦 大塚史明	加藤大典
	そらち南農協米作研究会	片山 肇	大塚史明	—	宮田 充	青木 悟 吉田義弘	矢萩 健
	そらち南農協水稻直播部会	賀集優彦	東 澄	—	坂口卓也	元木 斉	酒井隆次
	栗山町米麦改良協会	北 輝男	清水哲雄 小泉弘人	日置正敏 橋本克己	—	青山 悟 大久保明義	成田貴則
	由仁町米麦改良協会	大友伸彦	松井隆典 (会長代理)	鶴田健一 杉本淳久	—	龍方利忠 東 澄	富樫真由
施設運営	そらち南農協米穀乾燥調製施設（由仁地区）運営委員会	大友伸彦	松井隆典	—	—	—	西澤克美
	そらち南農協米穀乾燥調製施設（栗山地区）運営委員会	大友伸彦	北 輝男	—	—	—	西澤克美
	そらち南農協麦乾燥調製施設（由仁地区）運営委員会	松井隆典	高嶋雅彦	—	—	—	西澤克美
	そらち南農協大豆施設（由仁地区）運営委員会	松井隆典	高嶋雅彦	—	—	—	西澤克美
	そらち南農協麦大豆乾燥調製施設（栗山地区）運営委員会	大友伸彦	北 輝男	—	—	—	西澤克美
麦・豆類 種子	そらち南麦・豆類採種組合	芦沢 功	藤田 淳	坂東正明	堀田一仁	田中昭一 荻野一彦	加藤大典
て ん 菜	そらち南農協てん菜振興会	重田順栄	砂田正春	—	—	大西康人 上野義信	宮本佳明
玉 ね ぎ	そらち南玉葱振興会	堀 雅弘	長谷川誠	中島武博	野原 豊	西田秀樹 水野宏哉	鈴木俊行
	由仁町まごころ玉葱部会	黒田良行	岩崎俊博	—	中嶋悟智	白川享彦	佐川 誠
食用・加工 馬鈴しょ	そらち南農協食用馬鈴薯部会	浅川景德	橋本尚彦	—	吉野弘恭	森本 淳 大塚敏史	吉野孝則
	そらち南農協加工馬鈴薯部会	大畠敏弘	砂田正春	—	羽賀丈恭	桜間弘晃 沢田 裕	吉野孝則
南 瓜	ＪＡそらち南南瓜振興会	川端 敦	大谷 彰	—	村上和繁	馬場克泰 杉本道哉	原田寿博
	栗山町「栗マロン」研究会	井波俊一	川浦慶一	蔵田信幸	桜間弘晃	本藤力勢 佐藤好美	佐川 誠
種馬鈴しょ	そらち南農協由仁地区種馬鈴薯共選貯蔵施設運営委員会	松井隆典	高嶋雅彦	田中 勲	—	—	吉野孝則
	そらち南農協栗山地区種馬鈴しょ共選運営委員会	大友伸彦	北 輝男	橋場一敏 日置正敏	—	—	後藤佑也
	栗山町馬鈴しょ集出荷貯蔵センター	新山春義	背戸孝義	金丸和弘	—	—	後藤佑也
	由仁町種馬鈴薯採種組合連絡協議会	田中 勲	鷹 修	—	—	蛇谷 靖 萩生田祥潔	吉野孝則
	栗山町馬鈴薯採種組合	橋場一敏	日置正敏	—	小川信一	斉藤幸博 鷲尾正臣	後藤佑也
	そらち南農協種馬鈴しょ協議会	田中 勲	橋場一敏	鷹 修	日置正敏	斉藤幸博 村上和繁	藤本雄太

生産者組織・生産部会組織の ついて下記のとおり

品 目	組 織 名	部 会 役 員 名					担当職員
		部 会 長	副 部 会 長		会 計	監 事	
長 ね ぎ	そらち南農協長葱部会	中嶋常隆	川崎浩樹	—	馬場雅己	角 昌幸 棚村 優	岩崎慶司
軟白長葱	そらち南農協軟白長葱部会	水木 稔	橋本正二	—	橋本正二	田村繁則	高橋裕輔
花 卉	南空知花き生産組合	田中秀幸	石田博之	木工順人	—	中山邦夫 池田徳重	稲毛保之
	そらち南農協花き生産組合	早坂寿博	寺 雅彦	—	寺 雅彦	徳橋 謙 広坂公宏	稲毛保之
ピーマン	そらち南農協ピーマン部会	窪田新作	龍島繁行	堀内辰彦	堀内辰彦	杉本誠一郎 岩崎政芳	高橋裕輔
メ ロ ン	くりやまメロン生産組合	伊月利勝	千葉周作	—	川浦 修	高橋慎一	目々沢雄太
	由仁ナチュラルメロン組合	森田 斉	金山和則	—	橋本尚彦	吉本好孝 角 昌幸	原田寿博
アスパラガス	そらち南農協アスパラガス部会	大坪竜樹	菅野 寿	—	堀田淳一	高橋利雄	目々沢雄太
イ チ ゴ	そらち南農協いちご部会	川畑憲吾	田中 尋	—	田中 尋	青山正志	目々沢雄太
莓 苗	そらち南農協莓苗部会	西山 隆	塚本政紀	—	塚本政紀	久保 護	岩崎慶司
栗山町農業経営研究会		藤田 淳	清水治広	荻野一彦	鷲尾正臣	藤柳一哉 瀬尾正樹	成田貴則
由仁町ホイルトラクター連合会		安川里史	大塚敏史	小柳隆志	蛇谷 靖	中嶋悟智 原田政信	富樫真由
栗山町耕土改良事業協会		水上忠信	長澤哲哉	—	清水治広	高橋浩一 山本 強	高橋有宇
そらち南RH防除組合		片山 肇	宮田 充	—	大塚史明	長尾卓也	高橋有宇
栗山町農業再生協議会		椿原紀昭	北 輝男	—	—	桂 一照 田村繁則	高橋有宇
由仁町農業再生協議会		松村 諭	大友伸彦	—	—	吉田 智 野島芳光	吉田 拓
そらち南農協青年部		渡辺晋士	斉藤隆浩	三木田修	前田一樹	渡会伸成 林 新悟	矢萩 健
そらち南農協女性部		吉田真由美	片山真由美	大塚由紀子	—	田村里美 井沢悦代	渡辺鮎美



各地の作業風景など



(株)野島農園さん宅（下古山）
4月20日 水稻播種



高木 和利さん宅（北学田）
4月20日 玉葱定植

結婚おめでとう



新婚さんご紹介

由仁町古川 森 出 孝 弘 さん (29)
由梨香 さん (26)
(旧姓 北村)

ご成婚日 平成26年11月23日

- Q 出会いのきっかけ？
- A 農業に就く前に働いていた職場の同僚
- Q どんな家庭にしたい？
- A いつも笑いのたえない家庭
- Q 農業に対する抱負
- A 計算された農業をやる！

我が家の愛取
(アイドル)



川端 ^{くみこ}久美子ちゃん (女の子)
平成27年2月13日生まれ

東三川
お父さん：川端 祐平さん
お母さん： 若菜さん

- Q 一番可愛く感じるときは？
- A うとうと眠りそうになってるとき
- Q どんな子に育って欲しい？
- A 明るく活発な女の子に



ジャガイモシストセンチュウ 侵入防止対策の徹底について

馬鈴薯の病害虫の中で、最も恐れられているジャガイモシストセンチュウの発生地域が近年拡大しています。馬鈴薯の根にシストが寄生すると生育不良となり収穫量が大幅に低下します。

昭和47年に後志管内羊蹄山麓で発見されて以来、昭和50年代にはオホーツク・胆振管内で発生、昭和60年代には根室・渡島管内で、平成に入ってから上川・釧路・十勝管内、近年は石狩・檜山管内でも発生し、既に10振興局管内52市町村で発生が確認され拡大している状況であります。

効果のある薬剤等がなく、一度侵入し発生すると完全に撲滅するのは不可能で、もし発生が確認されれば、本町の特産物である種馬鈴薯の生産ができなくなる事も予想され、食用等の馬鈴薯も壊滅的な被害を受けることになります。

ジャガイモシストセンチュウは、土壌で伝搬し発生地域の種芋・種苗・球根・農業機械の移動などで容易に侵入するため次の事項について十分注意してください。

- ① 発生地域より土付きの種苗や農産物、農業機械等を圃場に持ち込まない。
- ② 発生地域から帰る時はトラックのタイヤ等徹底した洗浄の実施
- ③ 関係者以外の馬鈴薯圃場への立ち入り禁止と圃場の出入り時の長靴等の洗浄

本町の特産物である馬鈴薯生産を守るために、家庭菜園等においても健全種馬鈴薯の更新による栽培にご理解とご協力をお願い致します。

ジャガイモシストセンチュウとは？

ジャガイモシストセンチュウ（以下、シストセンチュウ）は、ジャガイモの根から分泌された物質に反応しふ化した幼虫が、根に侵入して内部で養分を吸収し、イモの生育を妨げます。

その結果、7月中旬の開花期頃から葉がしおれ、黄色く変化しやがて枯れてしまい、ジャガイモの収穫がほとんど望めなくなってしまう。

しかも、乾燥や湿潤、温度変化に強く、卵のままで20年以上生き続けることがあるため、一度侵入されると根絶させることが困難で厄介な害虫とされています。

STOPシスト



ジャガイモシストセンチュウの侵入防止

種いも産地を守ろう！

そらち南農協種馬鈴しよ協議会



平成27年度 共済一斉推進日程

下記のとおり、一斉推進日程が決まりましたのでお知らせいたします。組合員の皆様におかれましては大変ご多忙の時期とは存じますが、推進期間中は職員が訪問いたしますのでよろしくお願い致します。

なお、事前に保障設計書を送付致しますので、ご不明な点がございましたら職員の訪問時にご照会いただきたくお願い致します。

栗山地区：6月2日（火）～6月5日（金）

由仁地区：6月9日（火）～6月12日（金）

平成28営農年度 肥料予約取りまとめ一斉推進日程

下記の日程にて組合員全戸一斉推進を実施致しますので、生産コストの低減と安定供給をはかるべく趣旨をご理解いただき、是非期間中に全量予約されますようよろしくお願い致します。

由仁地区：6月1日（月）～6月 5日（金）

栗山地区：6月8日（月）～6月12日（金）

刈払機・ミスト機展示即売会のご案内

下記の日時にて展示即売会を行いますので、何卒お誘い合わせの上ご来場下さいますようご案内申し上げます。

由仁地区：5月28日(木)・5月29日(金) 8:30～17:00 由仁営農センター前

栗山地区：6月4日(木)・6月5日(金) 8:30～17:00 農機具研修センター前



金融課からののお知らせ

金融課では、ATMの更新の為、下記内容でATMの営業を休ませていただきますので、よろしくお願い致します。

営業休止日

本 所：5月16日（土）

継立出張所：5月23日（土）

平成27年度 機械銀行料金表

作業機械名	メーカー	単位	貸出料金(税抜)	台数
ロータリー逆転	ニプロ 2.0m	10a	1,800	1
施肥付グレンドリル	田端式畦幅 30cm 8畦施肥付	10a	900	3
総合播種機	田端式 TEB-4WR	10a	1,500	3
鎮圧ローラー	東洋 2.8m	10a	400	2
ポテトプランター	十勝式 2畦	10a	1,400	1
ポテトデガー	ニプロ 2畦	10a	2,200	1
ストロチョッパー	ニプロ 2m	10a	2,000	1
ビートプランター	サークル 2畦	10a	2,000	2
ビートプランター	サークル 4畦	10a	2,200	1
ビートハーベスター	日農 タッパー付	10a	3,600	1
ビーンスレシヤー	三由式 三点式	10a	2,700	1
ビーンハーベスター	ホンダウィル(豆刈機) 2条(オペレーター込)	10a	3,500	1
	ホンダウィル(豆刈機) 2条(オペレーター無)	10a	3,000	
マルチャー	ニプロ 平高畦	10a	300	1

※所有台数に限りがあり使用希望日に貸し出しできない場合がありますのでご了承ください。

※天候により使用希望日が前後する場合も有りますのでご了承ください。

※逆転ロータリーの貸し出しは、砂利・玉石の無い圃場のみの貸し出しとなります。

※シストセンチュウ等の害虫対策のため、一件使用後一度機械を引下げ、洗浄後の貸し付けとさせていただきます。

※機械移動については、別途(3,000円(税別)/移動一回)がかかりますのでご了承ください。

お問合せ先：由仁営農センター TEL 87-3311

集落センター・農産物加工センター使用料一覧表(由仁町)

【由仁町集落センター】

室名	料金(時間)	備 考
多目的ホール	1,100円	開放日は火曜日・木曜日 暖房料は使用料の30%(10円未満切捨て)
研修室(和室)	150円	
研修室(洋室)	120円	

【由仁町農産物加工センター】

区 分	1日(9時~17時)	半日(4時間以内)	備 考
基 本 料 金	3,500円	1,750円	開放日は月曜日から金曜日
一人当たり料金	1,200円	600円	
暖 房 料	1,000円	500円	

集落センター・農産物加工センターの注意事項

※暖房の利用期間は11月1日から翌年4月30日までとする。

※営利目的の場合には使用料50%加算する。

※使用時間が1時間単位にならないときは、繰り上げとする。

※継立農産物加工センターの利用料金については、営農指導課までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先：(株)メリーワーク TEL 83-2362

尚、そらち南農産物加工センター(継立)の利用につきましては、女性部に所属されている方であれば誰でも利用する事が出来ます。(但し、事前予約が必要です。)

第3回理事会報告

日時 平成27年4月2日(木)午後5時50分より第3回理事会が開催され、原案通り承認されました。

【報告事項】

永年勤続職員表彰報告
職員定期人事異動報告

【審議事項】

議案第1号 平成27年度各理事の報酬額・支給方法について
議案第2号 行政庁に対する業務報告書の提出について

行事予定

5月 16日 青年部田植え体験ツアー
27日 第3回監事会
28日 第5回理事会(予定)
6月 1日～5日 肥料一斉推進(由仁地区)
2日～5日 共済一斉推進(栗山地区)
8日～12日 肥料一斉推進(栗山地区)
9日～12日 共済一斉推進(由仁地区)

第4回理事会報告

日時 平成27年4月17日(金)午後3時30分より第4回理事会が開催され、原案通り承認されました。

【報告事項】

農家経済対策委員会報告
農業委員会報告
農政対策
各部報告

【審議事項】

議案第1号 建物賃貸借契約の締結について
議案第2号 建設工事規程の一部改正について
議案第3号 余裕金運用規程の一部改正について
議案第4号 理事に対するクミカン供給限度及び貸越極度額の包括承認について
議案第5号 平成27年度長期共済事業の一斉推進について
議案第6号 平成28年度肥料一斉推進について

新採用職員紹介

【4月1日付】

松久 太一(正職員)
《出身地》十勝管内 池田町
《配属先》販売部米麦畜産課 米麦係



《抱負》
「一日でも早く仕事を覚える」、「組合員の皆様に顔と名前を覚えてもらう」。この2つを目標に頑張つて参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

【5月1日付】

成田 貴則(正職員)
《出身地》札幌市
《配属先》営農部農業振興課 農業振興係



《抱負》
皆様のお力添えが早く出来るよう、精一杯頑張りますので宜しくお願い致します。

組合員の動き

▽正組合員戸数	▽組合員数	正組合員数	うち法人	准組合員数	うち団体
862戸	3,187名	1,474名	57名	1,713名	62名
(3月31日現在)					

★おくやみ申し上げます。
亡くなった方

氏名	年齢	住所
久保利枝子	59歳	栗山町杵臼
田中 義雄	84歳	栗山町湯地
西川 明宏	25歳	由仁町山榊
背戸 重義	90歳	栗山町雨煙別
岩崎 順子	85歳	栗山町御園
佐藤 幸男	77歳	栗山町円山

編集後記

暖かい日が続き、桜の花も咲き始め、やっと春らしい春がやってきました。
我が家ごとではありますが、娘もやつと歩き出し、最近ではつなぎ姿に長靴を履かせ畑で自由に遊ばせています(笑)
(なので、今年は私も一緒に畑へ行き、今まで義母に任せっぱなしだった家庭菜園を初めようと思つています。初心者でも育てやすい作物は何でしょうか? 皆さんからのアドバイス等お待ちしております。

管理部 小林 宏美



そらち南 くみあいだより

2015 5月号 Vol. 76

■発行 2015. 5. 10(毎月1回)

〒069-1511 夕張郡栗山町中央3丁目104番地
発行/そらち南農業協同組合 管理部企画審査課
TEL/0123-72-1313 FAX/0123-72-3364
HPアドレス <http://www.ja-sorachiminami.or.jp>
メールアドレス info@ja-sorachiminami.or.jp
印刷/山東印刷